



福岡県小郡市大板井1143-1
電話番号 0942-72-7221
FAX 0942-72-7222



発行人
こぐま福祉会 編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



理学療法士
いとう ゆうひろ
伊藤 雄

皆さん、こんにちは。私は、理学療法士として働いている伊藤雄と申します。五年目にして初めて...というより、人生初の冒頭文。冒頭文という難しい内容をイメージしてしまいましたが、今回は、私のことを知らない方がたくさんいらっしゃると思うので、「へえーこんなスタッフがいたんだあ。」と思ってもらえるように自己紹介を兼ねて書きたいと思いません。

早速、私の変わったプロフィールを紹介します。うきは市という自然溢れる土地で自由奔放に駆け回りながら少年時代を過ごした私は、周囲の目を気にせず、思ったことは何でも行動に移してしまう性格の人間に育ちました。その性格がより強く現れたのは高校生の時でした。「何の為に勉強するのか?」「将来、自分はどうなりたいのか?」「今、高校に通う意味はあるのか?」など、心に疑問を抱いていた私は、高校一年生の時に不登校となり、家族の反対を押し切って、学校に内緒でアルバイトを始めました。その時、初めて働くことやお金を稼ぐことの大変さ、これ

まで私を育ててくれた家族の偉大さを知りました。私の家族は、私が働くことを期待していたようですが、見事にそれを裏切り、二年生の時に留年し、とうとう学校を辞めてしまいました。それからもうアルバイトを続けながら通信制高校に通い、自分の将来について悩み苦しんでいました。「思い切って学校を辞めたのはいいが、本当に自分のやりたいことは見つかるのか?」そんな不安を抱いていた私を救ってくれたのが、理学療法士という職業との出会いでした。もともと、母親が介護福祉士ということもあり、福祉の仕事に興味を持っていました私は、十七歳の時にホームヘルパーの資格を得るための講習に通っていました。その講習の中で、講師として理学療法士の先生が来られたのがきっかけでした。話を聞き、興味を持った私は、実際に臨床現場を見学に行き、理学療法士になることを決意しました。専門学校に入るため、それまで疎かにしていた勉強を頑張り、大学入学資格検定に合格して高校卒業の資格を得ました。そして、専門学校を受験し、合格。念願だった理学療法士への第一歩を踏み出しました。私は夜間部に通っていたので、昼間はリハビリ助手としてアルバイト、夜は勉強とかなりのハードスケジュールでしたが、それ以上に勉強が楽しく、かなり充実した日々を送ることができました。そして、現役生よりも三年遅くなりま

したが、晴れて理学療法士になることができました。

そんな、ふらふらとした人生を歩んできた私も、こぐま福祉会に就職してから五年目を迎えました。実は、学生時代からボランティアでお世話になっており、その期間も含めるとこぐま歴はもつと長いことになりました。私がこぐま福祉会に就職したのは、そのボランティアがきっかけでした。週一回の頻度だったのですが、日々成長していく子どもの姿、その子どもにも全力で関わるご家族やスタッフの姿を見て、是非、自分もスタッフの一員として働きたいと思うようになりました。その夢が叶った今、自分は理学療法士として何ができるのか、まだまだ模索中です。理学療法に決まった形はありません。可能性は無限大だと思います。自由な発想で子どもと関われる理学療法士になることが私の夢です。

今はとにかく、私のわがままを許してくれた私の家族、私を後押ししてくれた方々、理学療法法の楽しさを教えてくれた学校の先生方、小児の道に導いて下さった子ども達やそのご家族、今の上司や先輩方に深く感謝しています。少しでもその恩を返せるように頑張りたいと思います。そして、振り返った時に「少しは自分も人の役に立てたかな?」と思えるような人生にできたらなと思います。

こんな私ですが、これからもよろしくお願ひします。

育児日記



こんには。保育士の山村です。三月に約一年の産休を経て復帰しました。今回はそんな私と息子のことをここでお話しさせていただきます。

て頂きたいと思っています。息子が産まれたのは去年の四月九日、分娩室に入ってから約三時間で産まれました。初めて息子を見た時何故か親指ではなく、人差し指を吸っていた姿がとても印象に残っています。

これから育てていく上でミルクで育てようか母乳にしようか迷ったのですが結局母乳で育てようと思いい、母乳育児がスタートしました。けれど母乳育児は思っていたよりも大変で、食事の管理に三時間毎の授乳、それに加えて乳腺炎などのトラブル続きで母乳育児にストレスを感じていました。そんな時、息子の笑った顔を見たり、成長していく姿を見ると『頑張ろう』と思えて、辛い時はありますが、楽しく育児をすることができました。まだまだ子育ては始まったばかりですが、息子と一緒に頑張りたいと思います。(保育士 山村)



尾久保にも春が来た!

平地では桜が満開だった四月上旬は、尾久保の桜はまだまだつぼみでしたが、ひと足遅れの春の訪れをキヤッチしてきました。運動場を囲う満開の桜と、真っ青の空と、見渡す山々と、春の尾久保研修所は、日ごろの疲れを忘れるには、絶好の場所です。喫茶「陽(ひなた)」は春からリニューアルしたそうで、自然の中でのティータイムはおすすめです。(受付 赤司)



療育キャンプのお知らせ

だんだん日差しも強くなり、夏が近づいてきましたね。子どもたちの楽しみにしている夏の療育キャンプのお知らせです。療育キャンプは、二十四時間子ども達と一緒に生活をする中で、①基本的な生活習慣などの指導をする。②それぞれのお子さんの発達上の課題の改善の糸口を見つける。③保護者の方と離れた生活の中で自立心を養う。という目的で福祉会設立依頼ずっと続いてきたものです。

今年度の詳細は掲示ポスター、申込書をご参照ください。・申込み用紙の配布開始 四月二十四日(火) (※窓口用紙を設置します) ・申込み受付期間 五月二十二日(火) ~ 六月三十日(土)

申込書の受付は、窓口提出のみとさせていただきます。その後、料金の支払い方法、その他の用紙をお渡しします。全ての書類が確認できた上で受付完了となります。定員になりましたら受付締め切りとなりますので、ご了承下さい。不明な点は担当をお呼び出してください。 「忘れられない夏にしよう!」 「おー!」 (キャンプ実行委員 福田)

個別訓練についてのお知らせ

対象児の増加に伴い、待機の子どもの数が増えてきております。また職種によって十分な体制での受け入れが困難となる事が予測されます。平成二十四年四月より子どもさんの年齢や状況に合わせて、職種や訓練頻度の見直しを行います。大変ご迷惑おかけしますが、ご理解をお願いします。

また、本年度の訓練時間割は表のとおりです。よろしく願います。(法人統括 岸良至) (診療所所長 塩永淳子)

訓練時間割

- ① 9:30~10:10
② 10:15~10:55
③ 11:00~11:40
④ 11:45~12:25
⑤ 12:30~13:10
⑥ 13:15~13:55
⑦ 14:00~14:40
⑧ 14:45~15:25
⑨ 15:30~16:10
⑩ 16:15~16:55

行事予定

- 三日(木) 尾久保研修所茶摘み
十二日(土) 三十周年記念式典
二十二日(火) 療育キャンプ 受付開始
二十四日(木) 避難訓練
二十五日(金)、二十六日(土) 「愛らんど」宿泊体験

※お願い

十一日(金)は、三十周年記念式典準備のため、事業によっては、利用時間の変更をさせていただきます。ご確認とご理解、ご協力の程どうぞよろしく願います。

平成 24 年度 こぐま・ゆう グループ紹介

みつばちグループ
いっぱいあそんで、
いっぱい笑おうね☆



あいんこグループ
お友達と一緒に楽しいね♪



くわがたグループ
みんなの笑顔がたくさん
見られますように☆☆



ぼったグループ
いーっぱいおえかきしたよ♪



かぶとむしグループ
毎日パワー全開っ！！



とんぼグループ
ゆっくり楽しく☆
いっぱい遊ぼ♪



ちょうちょグループ
お母さん、お友達と
たくさんあそぼうね☆



てんとうむしグループ
桜も満開！
笑顔も満開！の
スタートです



小郡ロードレースに 参加しました！

三月二十五日(日)小郡運動公園をスタートとする「小郡ロードレース」に今年も参加してきました。参加メンバーはこぐま学園利用児、保護者、こぐま学園スタッフで、それぞれ一・五キロ、五キロ、十キロ、ハーフの種目にチャレンジしました。今年桜の開花が遅れ、若干肌寒さも感じるお天気でしたが、それぞれ日頃の練習の成果を発揮し、無事全員完走することが出来ました。走り終えた後のせんざいは格別でした。毎年、参加することが恒例となってきたこの大会ですが、利用者の方もスタッフも参加者が増え、とても充実した大会となっております。来年もまたみんなで走りましょう。

(マラソン部 木下)



心の窓



愛らんど
こがひろき
古賀浩基さん

息子は、今年で二十五歳になりますが、二歳半の時からずっとこぐまにお世話になっていきます。言葉の遅れやこだわりがあり、自閉症と診断されましたが、年とともにそれらは変化しています。息子は人とコミュニケーションをとることが好きで、気になることを何度も聞いてきます。あまりにしつこいので、手に書いてあげると落ち着き、それから聞いてきます。最近では、息子のほうから「書いて」と言ってくることもあります。

を持つ親の気持ち、特に苦しいことを人に分かってもらえることは、とても嬉しいことです。息子もそんな私の様子を感じ取っているようで、自然に笑顔が出てきます。

息子には、兄と妹がいます。男同士だからでしょうか、兄は浩基をよく可愛がり、浩基も兄を慕っています。ですが、妹が思春期に差し掛かり、障害を持つ兄を疎みはじめたのでしよう、「普通の家庭が良かった」と言ったときは、私は涙が止まりませんでした。

息子は現在、愛らんど以外にも通っていて、色々な作業に挑戦しています。夫が退職してから、送り迎えや身の回りの世話は、ほとんど夫が引き受けてくれていて、とても助かっています。やはり男同士、気が合うところが多いようで、歌い、笑い、時には怒られながらも楽しく過ごしているようです。私も、夫が息子を引き受けてくれることで、心に余裕ができ、ヘルパーの仕事が出来るようになりました。

常に幸せであることはとても難しいことです。ですが、今では「悩んでも仕方がない」ようになるようになりました。息子の将来を考え、時には人に悩みを聞いてもらいながら、これからも前向きに歩いていきたいと思えます。

(古賀浩基の母)

新しいスタッフを紹介いたします!

紹介いたします!



今年度仲間入りした十人の新人さんに自己紹介してもらいました。どうぞ宜しくお願ひします!

(名前①職種②出身地③ひとと言)

☆郡山 優衣(こおりやま ゆい)

- ①保育士
- ②鹿児島県
- ③毎日笑顔で心がけマイペースに頑張ります。



☆平川 留実(ひらかわ るみ)

- ①児童指導員
- ②久留米市
- ③どんな時も笑顔で一生涯懸命頑張ります。



☆宮永 佳恵(みやなが よしえ)

- ①保育士
- ②みやま市
- ③一生懸命頑張ります。



☆吉浦 由香理(よこづら ゆかり)

- ①職業支援員
- ②北九州市
- ③ワークステップで一般就労を目指す利用者さんと一緒に頑張ります。



☆東谷 里美(ひがしたに さとみ)

- ①生活指導員
- ②北九州市
- ③早く慣れるように頑張ります。



☆中川 祐佳(なかがわ ゆか)

- ①生活指導員
- ②筑前町
- ③笑顔で頑張ります。よろしくお願ひします。



☆平田 勉(ひらた つとむ)

- ①送迎バス運転
- ②久留米市
- ③交通ルールを守り、楽しい一日でありますよう安全運転に努めます。



☆高木 平和(たかき ひろかず)

- ①送迎バス運転
- ②久留米市
- ③交通ルールを守り、人に優しい安全運転に心がけます。



☆上野 令子(うえの れいこ)

- ①言語聴覚士
- ②久留米市
- ③子ども達と仲良くなりたいです。



☆中野 真奈美(なかの まなみ)

- ①生活支援員
- ②福岡市
- ③よろしくお願ひします。

